

# 発表事項

## 1 令和7事業年度事業の実施状況及び決算

- (1) 令和7事業年度事業の実施状況
- (2) 審査支払会計
- (3) 保健医療情報会計及び医療介護情報化等特別会計
- (4) 財政調整等特別会計

## 2 令和8事業年度認可事業特別会計予算、事業計画及び資金計画変更

## 3 令和7年度の支払基金の取扱状況

- (1) 診療報酬等確定状況（令和7年4月～令和8年3月診療分）
- (2) 審査状況（令和7年5月～令和8年4月審査分）
- (3) 特別審査委員会の審査状況（令和7年5月～令和8年4月審査分）

## 4 令和8年4月審査分の審査状況

## 5 令和8年5月審査分の特別審査委員会審査状況

## 令和7事業年度 保健医療情報会計及び医療介護情報化等特別会計の会計区分

## 保健医療情報の活用等に関する業務

No.	会計区分	勘定区分	主な内容	財源	頁
1.	保健医療情報会計	情報基盤運用勘定	オンライン資格確認等システム及び中間サーバーの運用	保険者からの運営負担金	38
2.		情報基盤整備勘定	共通算定モジュール、電子カルテ情報共有サービス及びオンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応等に係る開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国からの補助金</li> <li>・国からの委託費</li> </ul>	43
3.		情報分析活用勘定	NDB関連業務、健康スコアリングレポートの作成及びデータヘルス・ポータルサイトの運用	国からの委託費	
4.	医療介護情報化等特別会計	医療情報化支援基金勘定	オンライン資格確認導入支援、電子処方箋導入及び電子カルテ標準化導入等補助業務	・国からの交付金、補助金	50
5.		連結情報提供勘定	履歴照会・回答システムの運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連結情報照会者からの手数料</li> <li>・国からの補助金</li> </ul>	
6.		電子処方箋管理勘定	電子処方箋管理サービスの運用及び追加開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者からの運営負担金</li> <li>・薬局からの保管手数料収入</li> <li>・国からの補助金</li> </ul>	57

# 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定

## 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定

## 中間サーバー・オンライン資格確認管理業務の運営（委託事業）

## 決算の概況

- 運営費用は保険者からの運営負担金により賄う（国保との共同運営）

運営負担金単価（加入者1人当たり月額）

中間サーバー	R7年度	対前年比	オンライン資格確認	R7年度	対前年比
協会けんぽ・健保組合	1.02円	+0.20円	協会けんぽ・健保組合	1.91円	+0.33円
共済組合等	1.38円	+0.26円	共済組合等	1.91円	+0.33円
生活保護実施機関	1.09円	▲0.55円	生活保護実施機関	5.51円	+0.02円

- 収入は、保険者からの運営負担金収入29.3億円に加え、運営負担金の単価抑制に充てるシステム機器更新等経費積立預金6.4億円及び令和5年度収支剰余金4.1億円を合わせた39.9億円
- 支出は、システム改修の減※1▲0.6億円、マイナ保険証の利用実態に合わせたネットワーク帯域縮小による減▲0.2億円、コンタクトセンターの運用経費の減※2▲0.4億円等による業務経費が▲1.4億円及び予備費不使用▲0.2億円等により37.9億円

※1 不測の事態に備えて計上していた予算の未使用等

※2 実態に則した席数の確保

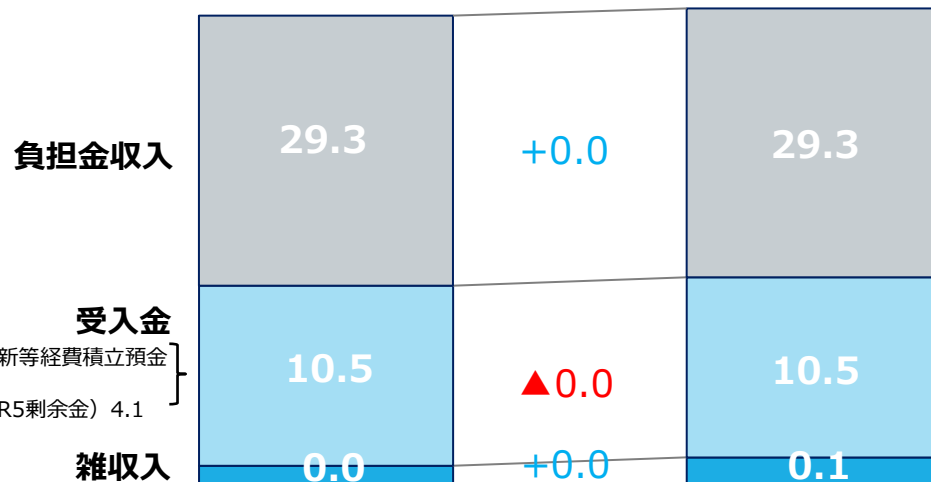
収入額39.9億円に対し、支出額37.9億円となり、**収支剰余金は1.9億円**（令和9年度の単価抑制に活用）

# 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

## 収入

予算 39.8 → +0.1 → 決算 39.9



受入金  
システム機器更新等経費積立預金 6.4  
別途積立預金 (R5剰余金) 4.1

○ 収支剰余1.9億円  
(収入39.9億円 - 支出37.9億円)

○ 保険者からの運営負担金収入29.3億円

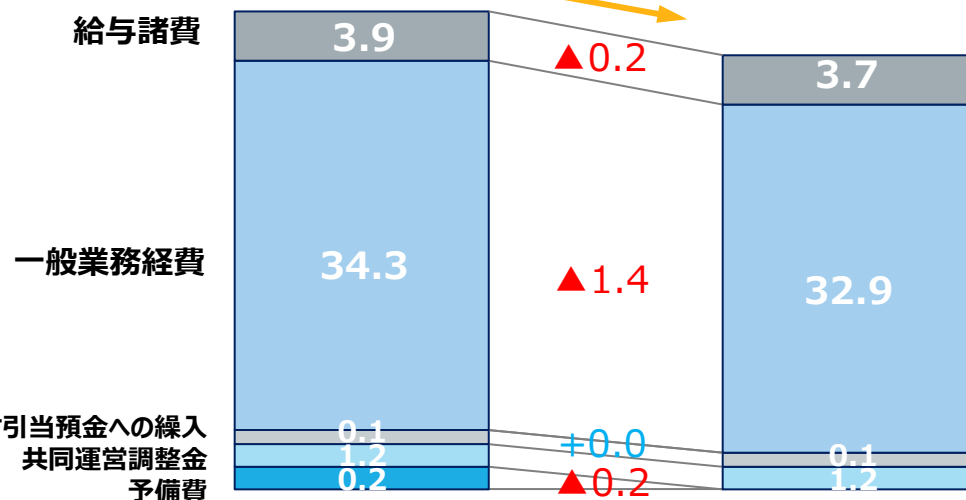
○ 運営負担金単価抑制に充てるシステム機器更新等経費積立預金<sup>\*</sup>6.4億円及び令和5年度剰余金4.1億円を受入

○ 雑収入の増0.0億円 (利子収入)

<sup>\*</sup> 中間サーバー運用開始当初から積立ってきたシステム機器更新等経費積立預金34.3億円については、令和2年6月の中間サーバークラウド移行に伴い、令和3年度以降の運営負担金単価抑制に活用することとして、令和8年度まで毎年6.4億円を受入 (令和7年度末残高：6.4億円)

## 支出

39.8 → ▲1.9 → 37.9



○ 給与諸費の減▲0.2億円 (支給単価差等)

○ 一般業務経費の低減▲1.4億円

- ・ システム改修経費の減 (不測の事態に備えて計上していた予算の未使用等) ▲0.6億円
- ・ マイナ保険証の利用実態に合わせたNW帯域縮小による減 ▲0.2億円
- ・ コンタクトセンター運用経費の減 (実態に則した席数の確保) ▲0.4億円 等

## 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和6事業年度	令和7事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>22.2</b>	<b>26.6</b>	<b>4.4</b>
負担金収入	22.2	26.6	4.4
<b>II 業務費用</b>	<b>29.3</b>	<b>35.5</b>	<b>6.2</b>
1 給与費関係	2.6	3.3	0.7
2 退職給付費用	0.2	0.2	▲0.0
3 法定福利費	0.4	0.5	0.1
4 保守料	19.6	25.0	5.4
5 委託費	2.1	2.3	0.2
6 修繕費	2.5	1.9	▲0.6
7 共同運営調整金支出	1.1	1.2	0.0
8 その他の業務費用	0.9	1.2	0.4
<b>業務損失</b>	<b>7.1</b>	<b>8.9</b>	<b>1.8</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.1	0.1
<b>経常損失</b>	<b>7.1</b>	<b>8.8</b>	<b>1.7</b>
<b>当期純損失</b>	<b>7.1</b>	<b>8.8</b>	<b>1.7</b>
<b>当期末処理損失</b>	<b>7.1</b>	<b>8.8</b>	<b>1.7</b>

- ・オンライン資格確認導入の増加に伴うクラウド利用料の増等により業務費用が6.2億円増加
- ・システム機器更新等経費積立預金(6.4億円)及び令和5年度剰余金(4.1億円)の受入による運営負担金の単価抑制により、負担金収入が業務費用を下回るため、当期純損失は8.8億円

## 保健医療情報会計 情報基盤運用勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

## 負債の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額	区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>14.1</b>	<b>21.4</b>	<b>7.2</b>	<b>I 流動負債</b>	<b>12.1</b>	<b>19.8</b>	<b>7.7</b>
1 現金及び預金	12.7	19.8	7.1	1 未払金	11.8	19.3	7.5
2 未収負担金	1.3	1.5	0.2	2 未払消費税等	-	0.1	0.1
3 その他の流動資産	0.1	-	▲0.1	3 賞与引当金	0.2	0.3	0.1
<b>II 固定資産</b>	<b>18.0</b>	<b>9.9</b>	<b>▲8.1</b>	4 その他の流動負債	0.1	0.1	0.0
1 有形固定資産	0.1	0.1	▲0.0	<b>II 固定負債</b>	<b>1.1</b>	<b>1.3</b>	<b>0.1</b>
2 無形固定資産	0.2	0.1	▲0.1	退職給付引当金	1.1	1.3	0.1
3 <u>投資その他の資産</u>	17.7	9.6	<u>▲8.0</u>	<b>負債合計</b>	<b>13.2</b>	<b>21.1</b>	<b>7.9</b>
(1) 退職給付引当資産	0.6	0.6	0.1	<b>資本の部</b>			
(2) 別途積立資産	4.1	2.3	▲1.7	区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
(3) システム機器更新等経費積立資産	12.8	6.4	▲6.4	利益剰余金	19.0	10.2	▲8.8
(4) 前払年金費用	0.1	0.1	0.0	<b>資本合計</b>	<b>19.0</b>	<b>10.2</b>	<b>▲8.8</b>
(5) 敷金・保証金	0.1	0.1	0.0	<b>負債・資本合計</b>	<b>32.2</b>	<b>31.2</b>	<b>▲0.9</b>
<b>資産合計</b>	<b>32.2</b>	<b>31.2</b>	<b>▲0.9</b>				

オンライン資格確認の運営負担金単価抑制による積立金の取崩しにより、システム機器更新等経費積立資産等(投資その他の資産)(▲8億円)が減少

# 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定

## 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定

共通算定モジュール、電子カルテ情報共有サービス及びオンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応に係る開発（補助金・委託事業）

### 決算の概況

- 令和7年度は、オンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応、電子カルテ情報共有サービス、介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等及び共通算定モジュールの開発等に係る補助金事業に加え、公費負担・地方単独医療費助成事業等の対象者に係る情報連携(デジタル庁)等の委託事業を実施
- 収入は、共通算定モジュール開発等における補助金収入減▲17.8億円※<sup>1</sup>及び公費負担・地方単独医療費助成事業等の対象者に係る情報連携(デジタル庁)等における委託費収入減▲1.4億円※<sup>2</sup>等により197.2億円
  - ※1 国において病院情報システムのクラウド移行支援を実施しない整理となったことによる減等
  - ※2 PMH関連システムとの情報連携に係る誤入力チェック機能追加（中間サーバー）を次年度としたことによる開発規模縮小等
- 支出は、共通算定モジュールの開発経費の減▲13.5億円※<sup>3</sup>、オンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応等の改修経費の減▲13.0億円※<sup>4</sup>、及び電子カルテ情報共有サービスの運用経費の減▲4.7億円※<sup>5</sup>等により144.5億円
  - ※3 モデル事業（モジュールの品質確認）の費用が当初の積算より減、見積精査による減
  - ※4 次世代顔認証付きカードリーダー開発及びマイナンバーカードのスマホ対応について要件整理による開発規模縮小等
  - ※5 本格運用スケジュール変更

収入額197.2億円（補助金192.3億円、委託費4.9億円）に対し、支出額144.5億円となり、**収支剰余金は52.7億円**（国庫に返還）

## 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定

## 決算の概況（執行状況）

## 1. 補助金事業

（単位：億円）

内訳	収入 予算 a	基金への 交付額 b	収入差額 b-a	交付額減額理由	支出額 c	交付額からの 支出減 c-b	交付額からの減額理由
<b>① オンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応、多様な場面でのオンライン資格確認の導入</b> 加入者情報の正確性の確保（旧字体等が表示されない仕様の改善）、次世代顔認証付きカードリーダーの開発に係る対応、マイナンバーカードスマホ対応 など	45.8	45.8	-	-	32.9	▲13.0	要件整理による開発規模縮小（次世代顔認証付きカードリーダー、スマホ対応等）
<b>② 保健医療情報の提供の充実</b> (1) 救急搬送時の医療情報閲覧（救急搬送先の保険医療機関における情報閲覧） (2) マイナ救急（救急搬送中の医療情報閲覧）においてマイナンバーカード機能を搭載したスマホの利用を可能とするための対応	6.2 (4.5)	5.8 (4.5)	▲0.4 (-)	(1) -	2.3 (1.3)	▲3.5 (▲3.2)	(1) 案件の一部未実施による開発規模縮小 (2) 見積精査による減
<b>③ 電子カルテ情報共有サービス</b> 医療機関等間で3文書6情報を共有可能とするシステム開発	60.2	60.2	-	-	55.5	▲4.7	本格運用スケジュール変更による減
<b>④ 介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等</b> (1) 介護関連データ利活用に係る基盤構築事業 (2) 予防接種事務デジタル化	23.6 (10.4)	23.4 (10.4)	▲0.2 (-)	(1) -	5.4 (1.2)	▲18.0 (▲9.2)	(1) スケジュール変更による開発規模縮小 (2) 内容精査による開発規模縮小
<b>⑤ 共通算定モジュールの開発</b> 診療報酬の算定と患者の窓口負担計算を行うための電子計算プログラム	71.6	56.4	▲15.2	国において病院情報システムのクラウド移行支援を実施しない整理となったことに伴う縮減	42.9	▲13.5	・モデル事業（モジュールの品質確認）の費用が、当初の積算より減 ・見積精査による減

# 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定

## 決算の概況（執行状況）

### 1. 補助金事業

(単位：億円)

内訳	収入 予算 a	基金への 交付額 b	収入差額 b-a	交付額減額理由
⑥ 中間サーバーインターフェイスシステム更改 公共サービスメッシュへの移行における対応	0.6	0.6	-	-
⑦ 感染症の発生届等の届出の仕組み 電子カルテ情報共有サービスを経由した感染症の発生届等の仕組み	2.0	-	▲2.0	スケジュール変更
計	210.1	192.3	▲17.8 <sup>ア</sup>	

支出額 c	交付額からの 支出減 c-b	交付額からの減額理由
0.6	▲0.0	-
-	-	事業未実施
139.6	※ ▲52.7 <sup>イ</sup>	

(支出減 ア+イ=▲70.5)  
※給与諸費▲0.7億円含む

### 2. 委託事業

(単位：億円)

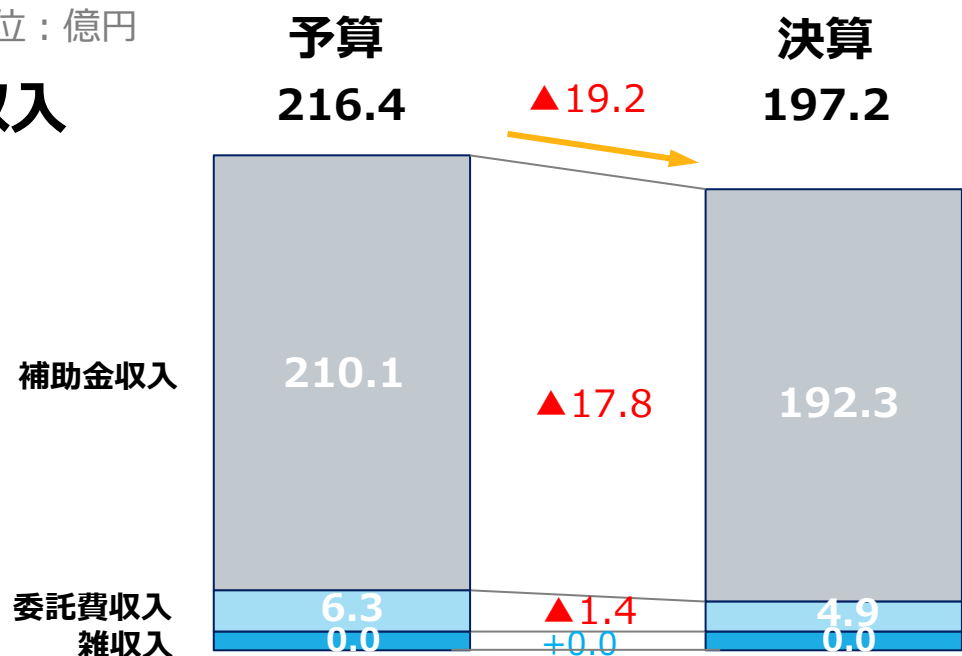
内訳	収入 予算 a	収入額 b	増減額 b-a	減額理由
⑧ 保健医療情報提供の充実(消防庁) 救急搬送中における救急時医療情報閲覧機能(実証事業)	0.7	0.3	▲0.5	運用保守経費の精査
⑨ 介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等 (1)公費負担・地方単独医療費助成事業等の対象者に係る情報連携等(デジタル庁) (2)医療機関等での自治体検診情報等を閲覧する仕組みの整備(健康局)	5.6 (5.4)  (0.2)	4.6 (4.5)  (0.1)	▲0.9 (▲0.9)  (▲0.1)	(1)内容精査による開発規模縮小 (2)テスト規模の縮小
計	6.3	4.9	▲1.4	

支出額 c	収入額 からの支出減 c-b	委託費収入額からの 減額理由
0.3	-	
4.6 (4.5) (0.1)	-	
4.9	-	

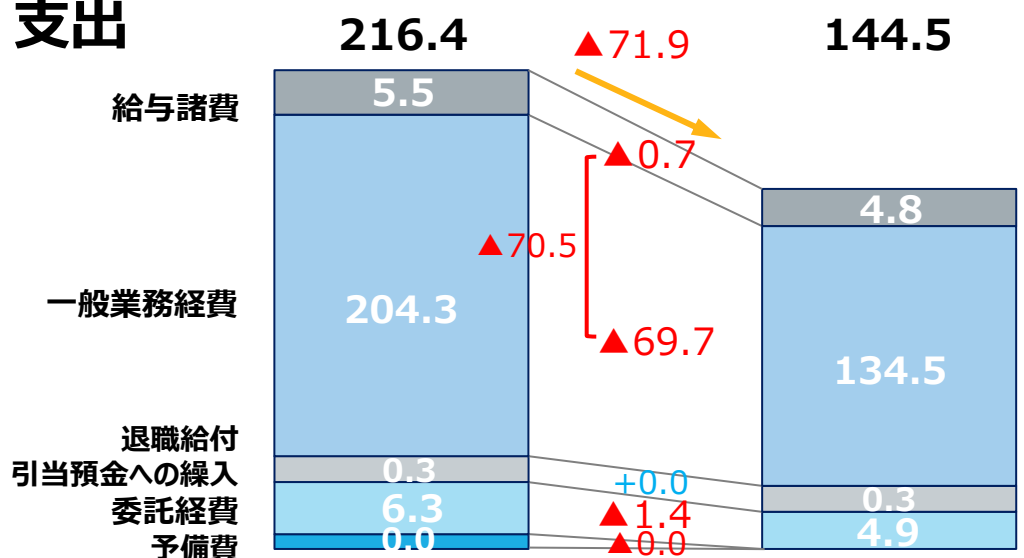
# 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

## 収入



## 支出



○ 収支剰余52.7億円  
(収入197.2億円 - 支出144.5億円)

### 【補助金収入減（交付額減額）▲17.8億円】

- ①オンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応、多様な場面でのオンライン資格確認の導入  
【予算 45.8 → 交付 45.8 (-)】
  - ②保健医療情報の提供の充実  
【予算 6.2 → 交付 5.8 (▲0.4)】
  - ③電子カルテ情報共有サービス  
【予算 60.2 → 交付 60.2 (-)】
  - ④介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等  
【予算 23.6 → 交付 23.4 (▲0.2)】
  - ⑤共通算定モジュール開発等事業  
【予算 71.6 → 交付 56.4 (▲15.2)】
  - ⑥中間サーバーインターフェイスシステム更改  
【予算 0.6 → 交付 0.6 (-)】
  - ⑦感染症の発生届等の届出の仕組み  
【予算 2.0 → 交付 - (▲2.0)】
- 【委託費収入（収入減額）▲1.4億円】
- ⑧保健医療情報提供の充実（消防庁）  
【予算 0.7 → 収入 0.3 (▲0.5)】
  - ⑨介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等  
【予算 5.6 → 収入 4.6 (▲0.9)】

### 【交付額の減額による支出の減▲17.8億円】

#### 【交付額からの支出減 ▲52.7億円\*】

- ①オンライン資格確認等システム等の安定運用に向けた対応、多様な場面でのオンライン資格確認の導入 ▲13.0
  - ②保健医療情報の提供の充実 ▲3.5
  - ③電子カルテ情報共有サービス ▲4.7
  - ④介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等 ▲18.0
  - ⑤共通算定モジュール開発等事業 ▲13.5
  - ⑥中間サーバーインターフェイスシステム更改 ▲0.0
- \*給与諸費▲0.7億円を含む

→ 総支出減▲70.5億円

## 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和6事業年度	令和7事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>248.7</b>	<b>196.7</b>	<b>▲52.0</b>
1 社会保障・税番号制度システム整備費補助金収入	117.6	1.3	▲116.3
2 地域診療情報連携推進費補助金収入	55.3	191.0	135.7
3 予防接種対策費補助金収入	1.2	—	▲1.2
4 高齢者医療制度円滑運営事業費補助金収入	66.3	—	▲66.3
5 介護保険事業費補助金収入	3.5	—	▲3.5
6 その他の業務収益	4.8	4.5	▲0.4
<b>II 業務費用</b>	<b>167.6</b>	<b>175.6</b>	<b>8.1</b>
1 給与費関係	3.7	4.2	0.5
2 退職給付費用	0.3	0.3	▲0.0
3 法定福利費	0.5	0.6	0.1
4 委託費	20.9	19.9	▲1.0
5 修繕費	19.4	14.9	▲4.6
6 租税公課	15.8	12.3	▲3.6
7 <u>減価償却費</u>	39.2	57.4	<u>18.2</u>
8 補助金精算返納金	65.7	52.7	▲13.0
9 その他の業務費用	2.0	13.5	11.5
<b>業務利益</b>	<b>81.1</b>	<b>21.1</b>	<b>▲60.1</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>81.1</b>	<b>21.1</b>	<b>▲60.1</b>
<b>特別損益</b>			
特別損失	0.7	0.8	0.1
<b>当期純利益</b>	<b>80.5</b>	<b>20.3</b>	<b>▲60.2</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>80.5</b>	<b>20.3</b>	<b>▲60.2</b>

令和6年度に無形固定資産(ソフトウェア)に計上した電子カルテ情報共有サービスに係るシステム開発等及び保険証廃止に伴うオンライン資格確認等システムの改修等に係る減価償却費の通年化により減価償却費(業務費用)が増加

## 保健医療情報会計 情報基盤整備勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>213.7</b>	<b>172.7</b>	<b>▲41.0</b>
1 <u>現金及び預金</u>	208.4	168.1	<u>▲40.3</u>
2 その他の流動資産	5.3	4.6	▲0.7
<b>II 固定資産</b>	<b>224.5</b>	<b>245.0</b>	<b>20.5</b>
1 有形固定資産	16.9	14.0	▲2.9
2 <u>無形固定資産</u>	206.9	230.1	<u>23.2</u>
3 投資その他の資産	0.7	0.9	0.2
(1) 退職給付引当資産	0.7	0.9	0.2
(2) 前払年金費用	0.0	0.0	0.0
<b>資産合計</b>	<b>438.2</b>	<b>417.8</b>	<b>▲20.5</b>

## 負債の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動負債</b>	<b>214.0</b>	<b>173.1</b>	<b>▲40.9</b>
1 <u>未払金</u>	213.6	172.7	<u>▲40.9</u>
2 未払消費税等	0.0	0.0	▲0.0
3 賞与引当金	0.3	0.3	0.0
4 その他の流動負債	0.1	0.1	0.0
<b>II 固定負債</b>	<b>0.8</b>	<b>1.0</b>	<b>0.2</b>
退職給付引当金	0.8	1.0	0.2
<b>負債合計</b>	<b>214.8</b>	<b>174.1</b>	<b>▲40.8</b>

## 資本の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
利益剰余金	223.4	243.7	20.3
<b>資本合計</b>	<b>223.4</b>	<b>243.7</b>	<b>20.3</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>438.2</b>	<b>417.8</b>	<b>▲20.5</b>

- ・システム開発規模縮小により現預金（未払資金）及び未払金が減少
- ・共通算定モジュールの請求支援機能の開発等に伴うソフトウェア（仮勘定含む）計上により無形固定資産が増加

# 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定

オンライン資格確認導入支援、電子処方箋導入及び電子カルテ標準化導入等補助業務（補助金事業）

## 決算の概況

- 医療機関・薬局等を対象とした補助金等の交付事業については、医療情報化支援基金と補助金を財源にして事業を実施
- 収入は、支援基金からの受入金118.9億円、厚生労働省からの補助金収入386.4億円及び雑収入4.9億円※1を合わせた510.2億円

※1 支援基金の利子収入4.5億円、薬局等からの返納金0.4億円

- 支出は、電子処方箋導入、電子カルテ標準化及び訪問診療等のオンライン資格確認導入などの補助事業において、医療機関・薬局等に対する補助金交付機関数が見込みを大幅に下回り▲849.5億円減※2、利子収入等の繰入として、支援基金への繰入金2.3億円増により246.3億円

※2 電子処方箋及び電子カルテ標準化導入補助事業について、国の導入目標を踏まえ補助金交付件数を見込んでいたが、医療機関等の導入が想定どおり進まなかったことに加え、電子処方箋の導入目標が年度途中で見直された影響等により、補助金申請件数が低調となり、交付件数の見込みを大幅に下回った。

収入額 510.2億円に対し、支出額246.3億円となり、**収支剰余金は 263.8億円**（国庫に返還）

## 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定

## 1. 医療情報化支援基金事業（財源：医療提供体制設備整備交付金）

(単位：億円)

内訳	収入予算 a	支出額 (取崩額) b	(内訳)		増減額 (b-a)	減額理由	期首残高 c				7年度末 残高 (c-b)
			システム 整備費 補助金	業務 運営費			6年度 末残高	増資額	雑収入		
								利子収入	返納金		
1-① オン資導入 医療機関・薬局に対するオン 資格導入補助事業	3.8	1.4	(0.0)	(1.4)	▲2.4	・交付機関数の減 見込225機関⇒8機関	124.0	(-)	0.6	0.0	123.2
1-② 電子処方箋導入 電子処方箋導入補助事業	547.9	72.8	(65.1)	(7.7)	▲475.1	・交付機関数の減 見込18.0万機関⇒3.0万機関	594.9	(-)	3.0	0.3	525.3
1-③ 電子カルテ標準化 電子カルテ情報標準規格準拠 対応補助事業	83.5	1.6	(1.3)	(0.3)	▲81.9	・交付機関数の減 見込1,400機関⇒30機関	148.3	(-)	0.8	-	147.5
1-④ 訪問看護等オン資導入 訪問看護ステーション・職域 診療所に対するオン資格導入 補助事業	69.3	43.1	(41.4)	(1.7)	▲26.3	・交付機関数の減 見込1.6万機関⇒1.0万機関	69.7	(-)	0.2	-	26.8
計	704.6	118.9	(107.8)	(11.1)	▲585.7 <sup>ア</sup>		936.9	(-)	4.5	0.3	822.9

## 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定

## 2. 補助金事業（財源：地域診療情報連携推進費補助金、社会保障・税番号制度システム整備等補助金）

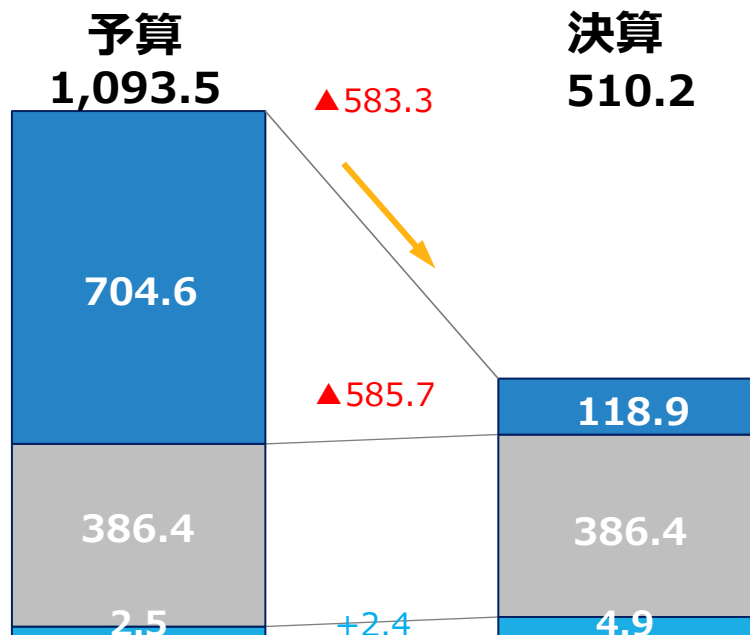
（単位：億円）

内訳	収入・支出 予算 a	支出額 b	（内訳）		収支差 b-a	減額理由
			システム 整備費補助金	業務 運営費		
2-① 訪問診療等オン資導入 訪問診療、柔整あはき、オンライン診療 等におけるオン資・スマホ搭載補助事業等	180.5	34.4	(24.6)	(9.8)	▲146.1	・訪問診療、柔整あはき等の 交付機関数の減 見込29.0万機関⇒11.6万機関
2-② 医療扶助オン資導入 生活保護指定機関（医療扶助） に対するオン資格補助事業	75.3	25.7	(21.5)	(4.2)	▲49.6	・交付機関数の減 見込11.2万機関⇒4.0万機関
2-③ マイナ保険証利用促進 マイナ保険証の積極的な利用勧奨の 取組みに対する協力金交付事業	53.4	35.2	(30.6)	(4.6)	▲18.2	・交付機関数の減 見込9.1万機関⇒6.1万機関
2-④ 公費受給者証等一体化 マイナンバーカードを診察券や公費・地単受給者証 の利用に必要なシステム改修支援	29.1	15.3	(13.7)	(1.7)	▲13.8	・交付機関数の減 見込3.8万機関⇒2.5万機関
2-⑤ 電子処方箋機能拡充 電子処方箋管理サービスの新機能導入支援 (リフィル処方等・院内処方)	42.6	8.2	(4.2)	(4.0)	▲34.3	・交付機関数の減 見込3.4万機関⇒0.5万機関
3 周知広報 マイナ保険証利用促進のための周知広報	5.5	3.7	(-)	(3.7)	▲1.7	
計	386.4	122.6	(94.5)	(28.0)	▲263.8 <sup>1</sup>	
「1.医療情報化支援基金事業」 及び「2.補助金事業」の合計	1,091.0	241.5	(202.3)	(39.1)	(ア+イ) ▲849.5	

# 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

## 収入



○ 収支剰余263.8億円 (国庫ご返還)  
(収入510.2億円 - 支出246.3億円)

【交付金収入】 -

【補助金収入】 386.4億円

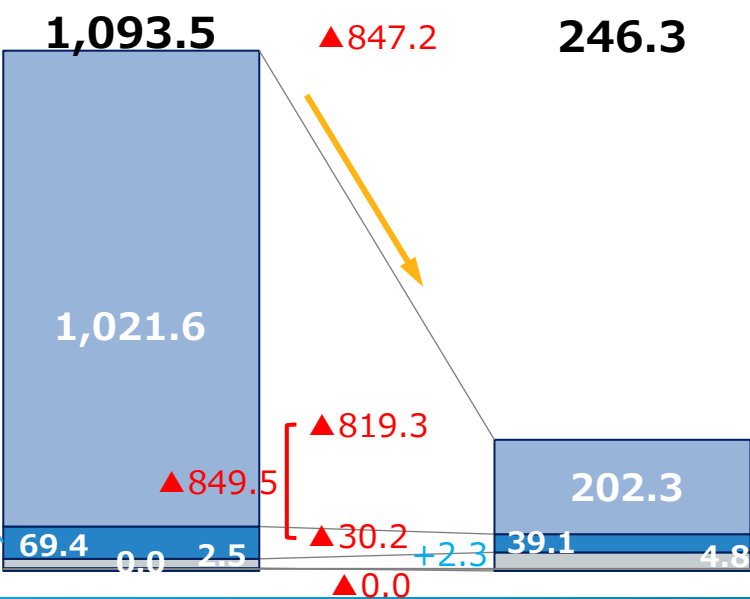
- 2-① 訪問診療等オン資導入 180.5
- 2-② 医療扶助オン資導入 75.3
- 2-③ マイナ保険証利用促進 53.4
- 2-④ 公費受給者証等一体化 29.1
- 2-⑤ 電子処方箋機能拡充 42.6
- 3 周知広報 5.5

【支援基金からの受入金】 118.9億円 (取崩額減額▲585.7億円)

- 1-① オン資導入 予算 3.8 → 取崩 1.4 (▲2.4)
- 1-② 電子処方箋導入 予算 547.9 → 取崩 72.8 (▲475.1)
- 1-③ 電子カルテ標準化 予算 83.5 → 取崩 1.6 (▲81.9)
- 1-④ 訪問看護等オン資導入 予算 69.3 → 取崩 43.1 (▲26.3)

【雑収入 (利子収入4.5億円・返納金0.4億円)】  
4.9億円 (+2.4億円)

## 支出



【支援基金への繰入金の増 +2.3億円】  
(運用利子収入の繰入れ)

【取崩額減額による支出の減 ▲585.7億円】

【補助金事業に係る支出減 ▲263.8億円】

- 2-① 訪問診療等オン資導入 ▲146.1
- 2-② 医療扶助オン資導入 ▲49.6
- 2-③ マイナ保険証利用促進 ▲18.2
- 2-④ 公費受給者証等一体化 ▲13.8
- 2-⑤ 電子処方箋機能拡充 ▲34.3
- 3 周知広報 ▲1.7

総支出減▲847.2億円

システム整備費  
補助金等支出

事務取扱費  
(職員諸給与及び退職給付  
引当預金への繰入  
管理諸費)

支援基金への繰入金  
予備費

## 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和6事業年度	令和7事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>839.1</b>	<b>505.6</b>	<b>▲333.5</b>
1 交付金収入	172.0	-	▲172.0
2 補助金収入	520.8	386.4	▲134.4
3 支援基金からの受入・整備費	132.4	107.8	▲24.6
4 支援基金からの受入・事務費	14.0	11.1	▲2.9
5 返還金収入	-	0.4	0.4
<b>II 業務費用</b>	<b>839.2</b>	<b>510.2</b>	<b>▲329.0</b>
1 支援基金への繰入	173.4	4.8	▲168.6
2 給与費関係	1.4	1.5	0.1
3 退職給付費用	0.1	0.1	▲0.0
4 法定福利費	0.2	0.2	0.0
5 電子資格確認用物品提供費	0.0	-	▲0.0
6 <u>減価償却費</u>	2.3	2.9	<u>0.6</u>
7 システム整備費補助金等支出	290.6	202.3	▲88.3
8 補助金精算返納金	339.0	263.8	▲75.2
9 その他の業務費用	32.1	34.5	2.4
<b>業務損失</b>	<b>0.1</b>	<b>4.6</b>	<b>4.5</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	1.4	4.5	3.1
<b>経常利益(▲経常損失)</b>	<b>1.4</b>	<b>▲0.1</b>	<b>▲1.4</b>
<b>当期純利益(▲当期純損失)</b>	<b>1.4</b>	<b>▲0.1</b>	<b>▲1.4</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>9.3</b>	<b>10.7</b>	<b>1.4</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>10.7</b>	<b>10.6</b>	<b>▲0.1</b>

令和6年度に無形固定資産(ソフトウェア)に計上した医療機関等向け総合ポータルサイトにおけるシステム改修(柔整あはき等対応)に係る償却期間の通年化により減価償却費が0.6億円増加

## 医療介護情報化等特別会計 医療情報化支援基金勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>1,284.4</b>	<b>1,094.9</b>	<b>▲189.4</b>
<u>現金及び預金</u>	1,284.4	1,094.9	<u>▲189.4</u>
<b>II 固定資産</b>	<b>11.2</b>	<b>11.2</b>	<b>▲0.0</b>
1 有形固定資産	0.0	0.0	▲0.0
2 無形固定資産	10.8	10.8	▲0.1
3 投資その他の資産	0.3	0.4	0.1
退職給付引当資産	0.3	0.4	0.1
<b>資産合計</b>	<b>1,295.5</b>	<b>1,106.1</b>	<b>▲189.4</b>

## 負債の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動負債</b>	<b>347.6</b>	<b>272.2</b>	<b>▲75.4</b>
1 <u>未払金</u>	347.5	<u>272.1</u>	<u>▲75.4</u>
2 未払費用	0.0	0.0	0.0
3 預り金	0.0	0.0	0.0
4 賞与引当金	0.1	0.1	0.0
<b>II 固定負債</b>	<b>937.2</b>	<b>823.2</b>	<b>▲114.0</b>
1 <u>支援基金</u>	936.9	822.9	<u>▲114.1</u>
2 退職給付引当金	0.3	0.4	0.1
<b>負債合計</b>	<b>1,284.8</b>	<b>1,095.5</b>	<b>▲189.4</b>

## 資本の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
利益剰余金	10.7	10.6	▲0.1
<b>資本合計</b>	<b>10.7</b>	<b>10.6</b>	<b>▲0.1</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>1,295.5</b>	<b>1,106.1</b>	<b>▲189.4</b>

国庫へ返還する補助金残額の減少(R6:339億円→R7:264億円)による未払金(流動負債)の減少及び、医療機関等へのシステム整備費補助金等の交付による支援基金(固定負債)残高の減少(▲114億円)により、現預金(流動資産)も減少

# 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定

## 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定

## 電子処方箋管理サービスの運用及び追加開発（委託・補助金事業）

## 決算の概況

- 電子処方箋管理サービスについては、保険者からの運営負担金※<sup>1</sup>及び保険薬局からの保管手数料※<sup>2</sup>により運用を実施するとともに、令和7年度においては、補助金により医薬品誤表示防止対応等の追加開発を実施

※<sup>1</sup> 加入者1人当たり月額単価：0.69円【対前年比+0.08円】（生活保護実施機関は0.76円【対前年比+0.15円】）

※<sup>2</sup> 電子処方箋管理サービスを利用している薬局から登録される調剤済み処方箋ファイルを5年間保存する希望制の有償サービスの手数料（政令で定める額：2,500円/年）

- 収入は、保険者からの運営負担金収入6.6億円、追加開発に係る補助金収入15.5億円、保管手数料収入466万円※<sup>3</sup>及び令和5年度収支剰余金0.3億円を合わせた22.5億円

※<sup>3</sup> 調剤済み処方箋の保存サービス利用数：1,864薬局

- 支出は、追加開発に係るシステム開発経費の減※<sup>4</sup>等に伴う管理諸費▲5.4億円及び予備費不使用▲0.1億円により16.8億円

※<sup>4</sup> 要件整理による開発規模の縮小、実施案件の見直し等による減

収入額22.5億円に対し、支出額16.8億円となり、**収支剰余金は5.7億円**（補助金交付分5.2億円は国庫に返還し、残り0.5億円は令和9年度の単価抑制に活用）

# 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定【収入支出予算と決算内訳】

単位：億円

## 収入

**予算** 22.5 **決算** 22.5  
 +0.0

負担金収入	6.6	+0.0	6.6
補助金収入	15.5		15.5
保管手数料収入	0.1	▲0.0	0.0
受入金	0.3	▲0.0	0.3
雑収入	0.0	±0.0	0.0

## 支出

**予算** 22.5 **決算** 16.8  
 ▲5.7

職員諸給与	1.6	▲0.2	1.4
管理諸費	20.6	▲5.4	15.1
退職給付引当預金への繰入	0.1	▲0.0	0.1
共同運営調整金	0.2	▲0.0	0.1
予備費	0.1	▲0.1	0.2

○ 収支剰余5.7億円  
 (収入22.5億円 - 支出16.8億円)

収支剰余のうち補助金5.2億円は国庫へ返還  
 ※残り0.5億円は令和9年度の単価抑制に活用

【補助金・運営負担金別の収支状況】

	決算額	補助金	運営負担金
収入	22.5	15.5	6.9
支出	16.8	10.3	6.4
業務運営費 (職員給与、経常経費、 退給繰入等)	2.3	0.5	1.8
システム関連経費	14.5	9.8	4.6
【内訳】運用経費	(4.6)	(0.0)	(4.5)
開発経費	(9.9)	(9.8)	(0.1)
収支剰余	5.7	5.2	0.5

【職員諸給与】 ▲0.2億円

・ 欠員による減 ▲0.2億円

【管理諸費】 ▲5.4億円

・ 追加開発の開発規模縮小等による減 ▲5.4億円

## 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定【損益計算書】

単位：億円

区分	令和6事業年度	令和7事業年度	差引増(▲)減額
<b>業務損益</b>			
<b>I 業務収益</b>	<b>9.1</b>	<b>21.6</b>	<b>12.5</b>
1 負担金収入	5.3	6.0	0.7
2 保管手数料収入	0.0	0.0	0.0
3 補助金収入	3.8	15.5	11.7
<b>II 業務費用</b>	<b>8.0</b>	<b>17.2</b>	<b>9.2</b>
1 給与費関係	1.1	1.2	0.1
2 退職給付費用	0.1	0.1	▲0.0
3 法定福利費	0.2	0.2	0.0
4 保守料	3.4	4.0	0.6
5 委託費	0.5	1.5	1.0
6 修繕費	0.0	0.9	0.9
7 租税公課	0.3	0.9	0.6
8 減価償却費	2.1	2.7	0.6
9 共同運営調整金支出	0.1	0.2	0.0
10 補助金精算返納金	0.0	5.2	5.2
11 その他の業務費用	0.2	0.3	0.1
<b>業務利益</b>	<b>1.1</b>	<b>4.4</b>	<b>3.3</b>
<b>業務外損益</b>			
業務外収益	0.0	0.0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>1.1</b>	<b>4.4</b>	<b>3.3</b>
<b>当期純利益</b>	<b>1.1</b>	<b>4.4</b>	<b>3.3</b>
<b>前期繰越利益</b>	<b>10.4</b>	<b>11.5</b>	<b>1.1</b>
<b>当期末処分利益</b>	<b>11.5</b>	<b>15.8</b>	<b>4.4</b>

・電子処方箋管理サービスに係るシステム開発（医薬品誤表示防止対応等）の資産計上（ソフトウェア）により、当期純利益4.4億円を計上

## 医療介護情報化等特別会計 電子処方箋管理勘定【貸借対照表】

単位：億円

## 資産の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動資産</b>	<b>7.0</b>	<b>19.0</b>	<b>12.0</b>
1 <u>現金及び預金</u>	6.7	18.7	<u>11.9</u>
2 未収負担金	0.3	0.4	0.0
3 未収入金	0.0	-	▲0.0
<b>II 固定資産</b>	<b>11.3</b>	<b>15.7</b>	<b>4.4</b>
1 有形固定資産	0.0	0.0	0.0
2 <u>無形固定資産</u>	10.8	<u>15.0</u>	<u>4.2</u>
3 投資その他の資産	0.5	0.7	0.2
(1) 退職給付引当資産	0.2	0.2	0.0
(2) 別途積立資産	0.3	0.5	0.2
(3) 前払年金費用	-	0.0	0.0
<b>資産合計</b>	<b>18.3</b>	<b>34.7</b>	<b>16.3</b>

## 負債の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
<b>I 流動負債</b>	<b>6.7</b>	<b>18.6</b>	<b>11.9</b>
1 <u>未払金</u>	6.4	18.3	<u>11.9</u>
2 未払費用	0.0	0.0	0.0
3 未払消費税等	0.2	0.2	0.0
4 預り金	0.0	0.0	▲0.0
5 賞与引当金	0.1	0.1	0.0
<b>II 固定負債</b>	<b>0.2</b>	<b>0.2</b>	<b>0.0</b>
退職給付引当金	0.2	0.2	0.0
<b>負債合計</b>	<b>6.9</b>	<b>18.8</b>	<b>11.9</b>

## 資本の部

区分	令和6年決算	令和7年決算	差引増(▲)減額
利益剰余金	11.5	15.8	4.4
<b>資本合計</b>	<b>11.5</b>	<b>15.8</b>	<b>4.4</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>18.3</b>	<b>34.7</b>	<b>16.3</b>

- ・システム改修における追加開発の規模拡大及び国庫への返還金等による未払金（流動負債）11.9億円増加に伴い、現預金（流動資産）も増加
- ・電子処方箋管理サービスに係るシステム開発（医薬品誤表示防止対応等）を無形固定資産（ソフトウェア）に計上